

出 藍

第 11 号 (月刊)
平成 28 年 2 月 16 日発行
兵庫県立三木高等学校
第 70 回生第 1 学年

①2 月駿台模試

2 月 11 日の建国記念日に、21 名の生徒が 2 月駿台模試に挑戦しました。俗に言う“ハイレベル模試”ですが、驚きなのはその解答用紙の多さ。国語に至っては解答用紙 3 枚！現代文・古文・漢文に分かれており、そのほとんどが記述問題という超ヘビー級の問題ばかり。英語、数学についても骨が折れる問題ばかりで、まだまだ演習の足りない高校 1 年生が容易に解ける問題ではなかったと思います。解答時間も 100 分と集中力との闘いでもありました。

そんな過酷を極めた模試でしたが、全 21 名はあきらめることなく果敢に取り組み続け、途中で机に突っ伏してさじを投げるような生徒は誰一人いませんでした。その姿に、これから受験に行っても大丈夫だなという、そんな頼もしさすら感じました。

こんなことを書くのは意地悪と思われるかもしれませんが、彼らには厳しい結果が返ってくることでしょう。そんな簡単に“A 判定”が出るはずもありません。しかし、そんなことはどうでもいいのです。志を高く持ち、己のために困難なことに挑戦しようとするその姿勢こそ、これから待ち受けている受験、ひいては社会に出てからの大きな糧になるはずです。また、他の人よりも早く自分の実力を客観的に見ることができたでしょう。「三木高校で〇番」という肩書きがいかに無意味かということを知り、うぬぼれることなくひたむきに努力してくれるでしょう。

受験しなかった生徒諸君にお伝えします。少しばかりの恐怖と大きな危機感を感じてください。君たちは 2 年後、このような生徒と同じ土俵で闘わなければなりません。同じ三木高校に入学した仲間なのに、学力的にも精神的にも大きな差をつけられています。さらに、敵は全国にいます。最終的な目標は彼らに勝つことではなく、全国の猛者に勝つことなのです。果たして今のままで自分の目指す進路を勝ち取れるのでしょうか？「このままではマズい！」と感じた人。まだ大丈夫です！その気持ちを行動に移せば道は開かれるでしょう。どうすればいいかわからないという人、今週に迫ってきたボキャブラリーコンテストに全力を注ぐことから始めましょう！

もう高校生になって 1 年が経過しようとしています。少しは能動的になれたでしょうか？未だに小テストを“ノー勉強”で挑む強者はいないとは思いますが、今回この模試のことに触れたのは、もはや勉強ができるできないの話ではありません。もう気づいているでしょう。どの分野においても、“できる人”は特別なことをやっているわけではないことに。小テストで毎回きちんと点をとっている、地道な基礎練習に自分なりに意味を見出して取り組んでいる、気分が



乗らないときでも常に全力で取り組んでいるなど。ほんの少しの積み重ねの違いが目に見える違いになっているだけです。

昨日と違う自分をつくる努力を少しずつしてみましょう。勉強時間を確保できてない人はまず 30 分間机に向かうことから始めてください。それを続ければ、やがて勉強時間が 1 時間、2 時間と伸びてくるはず。スマホをいじっているそのあなた！スマホを小説や参考書に持ち替えてみては？

「世界は自分次第」だ。頑張る彼らの姿を見て、改めてそのことに気付かされた 1 日でした。

②バレンタインデーの起こり

毎回勉強の話ばかりでうんざりされても困りますので、すこし目先を変えて、ここからは筆者の独断と偏見で文章を綴ります。今回は 2 月 14 日のバレンタインデーにちなんで、いろいろと背景と歴史を調べてみました。個人的には「なくなってしまう！」と思っています（おっと、心の声が漏れてしまいました）。



バレンタインデーはもともとローマ帝国の時代に司祭の死を悼む宗教的行事でした。詳しいことは省略しますが、それがやがて解釈が変化していき、若い人たちが愛の告白をしたり、プロポーズの贈り物をしたりする日になったと言われています。以後、世界的には「男女双方が想いをよせる人に贈り物をする日」になっていきました。

日本のバレンタインデーの始まりは、1958 年(昭和 33 年)。メリーチョコレート社の営業主任がヨーロッパの知人からバレンタインの話聞き、東京・新宿の伊勢丹デパートで“バレンタインには女性から男性へチョコレートを送りましょう”というキャンペーンを行いました。このキャンペーンこそ、女性から男性へという日本独特のバレンタインの起源。なぜか日本だけ女性から男性へチョコレートを贈るという文化になってしまいました。しかし、世の女性たちにとっては想いを寄せる男性へ接近できる千載一遇のチャンス！（デメリットも多いような気もしますが…）ちなみにチョコレート会社「モロゾフ」（神戸）が起源であるという説（1936 年(昭和 11 年)2 月 12 日）もあります。（その事実が認められ、1992 年に聖バレンタイン殉教の地イタリア・テルニ市から神戸市に愛の像が送られています。）

そんな日本独自のバレンタインデーですが、とらえ方は人それぞれでいいと思います。シャイな日本人ですから、こういったイベントは大切な人に感謝の気持ちを伝えるよいきっかけになると思っています。筆者はバレンタインデーが来るといつも、2 月 14 日が誕生日だった友人の嘆いていた顔を思い出します（笑）。

青木の部屋

今日は2組の筒井涼太さんと3組の田中晴希くんをゲストにお招きしてお送りしていきます。少しでも生徒の生の声をお届けしたいという想いでインタビューを敢行しました。70回生の皆さんには同級生の生活ぶりを聞き、ぜひ自分の生活と照らし合わせて参考にしてみてください。インタビューは2学期期末考査前に行ったものです(今までサボっていません・・・)。

赤木 今日は期末前の貴重な時間を割いてインタビューに応じてくれてありがとうございます！主に勉強や部活動について聞いていこうと思うので、よろしくお願いします。
田中 先生、でも本当に基本的に課題しかしてないですよ。

赤木 ほんまに？実際の勉強時間は？
田中 週末課題については2時間くらいです。でも、平日については1時間くらいしかできていません。

赤木 でも自分の力でやってるわけね？
田中 そうです。課題をこなしながらテスト勉強しているイメージです。数学とかは解いたら「気持ちいいー！」ってなります。
赤木 その感覚をみんな持ってほしいよな。予習は1時間でできるの？

筒井 いや、1時間以上かかります。
赤木 だよな！なんで？

田中 いや、サラサラーっと。
赤木 すげーな(笑)！今確信したよ。勉強については、筒井は完全な努力型、晴希は天才型で要領が良くてセンスでやっていますな。ただ気を付けてな。周りのやってくるやつが伸びてくるから。まあでも、2人とも模試で奮闘してたよな。

田中 いや、びっくりしました。完全燃焼したかも(笑)。

赤木 筒井は普段の勉強時間はどれくらい？

筒井 だいたい90分〜120分くらいですね。帰ってから食事をした後、2時間くらい仮眠をとります。そして、だいたい9時頃から勉強を始めますね。疲れているときは、早めに就寝し、朝早く起きて課題をするようにしています。

赤木 なるほど！自分の体調と相談して、最高の集中力の状態で勉強時間を確保しているということやね。

普段の生活で気を付けていることは？

筒井 長期的でも短期的でも目標を設定することを意識しています。「部活では今年は〇分切る」とか、「今日は何分以内に課題を終わらせよう」といった感じですよ。

田中 意識していることとしては、寝る時間は固定しています。十分な睡眠時間をとらないと練習がきつくなります。特に朝は決まった時間に食事をして、学校に向かいます。自分のルーティーンが崩れると変な感じがしますね。帰宅してからは、食事↓風呂↓仮眠↓予習↓日誌(陸上の日々の記録)↓就寝という感じです。
赤木 毎日日誌を書くのは力になるな。どんなこと書くの？

田中 練習メニュー、その日のタイム、気づいたこと、食べたものなどを書きます。書いてみることでいろいろ反省点が見つかります。

赤木 ベスト体重とかある？

田中 ありますが、練習したらその分食べるので、H0ですね。

筒井 僕の場合は夏場に走り込みをしているときは、1日1kgぐらいのペースで体重が減ってましたね。もう痩せて痩せて:(笑)。くたくたになってあまり食べられなかったですし。

赤木 今以上に痩せるとか恐ろしいな(笑)。

言うのが遅れて申し訳ないんだけど、近畿大会出場おめでとうございます！どんな感想を持った？

筒井 県大会では6番以内で近畿大会出場だったんですけど、その6位入賞の間を見てないんですよ。それが心残りです(笑)。

赤木 走りはどうだった？

筒井 走りはいつも通りでした。東播大会での失敗(ペース配分)を活かせたと思います。ホツとしました。ただ、周りの期待が上がってて、保護者はあまり喜んでいなかったですね。

田中 今回は出場できなくて、選考に敗れてしまった瞬間、すごく悔しかったですが、すぐに気持ちを切り替えて、今はチームのために自分ができることを考えて実行していました。ただ、来年こそは自分がここで走るんだと強く思いました。

赤木 早い時期で挫折を経験したことは絶対に生きてくると思う。リベンジせんとな！今後の課題を教えてもらえる？

筒井 3年生が抜けた自分を自分たちが埋めないといけないと思っています。次も必ず近畿大会に出場していい結果が残せるようにしたいです。

田中 僕は800mが専門なのですが、全中に出場したときのタイムを超えることができていません。自分としてはそこが一番心残りで、次のトラックシーズンでは、始まってすぐにその記録を超えて、最高のスタートが切れるようにこの冬練習に取り組みたいです。また、現在3年生も引退し、近畿大会も終了してチーム全体のモチベーションが下がっているのので、自分たち1年生が盛り上げていきたいです。

赤木 2人とも全体のことをよく考えていて、意識が高いよな。これから期待しています。

最後にまた話がそれるけど、誰の授業がおもしろい？

田中 木村先生の現代文が好きです。いろんな人の意見を聞いたり、木村先生の体験談を聞いたりするとおもしろいですね！怒っているところも好きです(笑)。板書も見やすいですよ。

赤木 そう！机とかもめっちゃきれいなんよ！見習ってます！

筒井 僕は二木先生の現代文が好きです。生徒との掛け合いがおもしろくて、「なんでそうなるんや？」と突っ込んでくるので楽しいです。雑学もすごく聞いていて「へえー！」って思うことが多いので、とても勉強になります。

赤木 二木先生の雑学はすごいよな！いろんな引き出し持ってるもん。

今日は本当にありがとうございました。いろんな本音が聞けてきつと参考になると思います。

今後の予定

2月18日(木)	ボキャコン(英語)
2月25日(木)	学年末考査①
2月26日(金)	学年末考査②
2月28日(日)	学年末考査③、卒業式予行
2月29日(月)	卒業式
3月1日(火)	学年末考査④
3月2日(水)	学年末考査⑤
3月3日(木)	球技大会①
3月4日(金)	球技大会②